



新宿山吹だよりは、保護者の皆さんにも読んでもらって下さい。

コンコルド搭乗記

校長 永浜 裕之

私にとって、生涯2度と経験できないと予想することをお話します。飛行機に関連する話です。

2度と経験できないこととは、超音速旅客機、通称SSTに乗った経験です。「コンコルド」と呼ばれた超音速旅客機に乗った経験ですが、なぜ、2度と経験できないかと言うと、もうコンコルドが存在しないからです。2003年に全機が退役し、現在世界には超音速で飛ぶ旅客機は存在しません。ユナイテッド航空が、2030年就航に向けて開発中の「オーバーチュア」がありますが、予定通り開発できるかは未知数です。超音速旅客機SSTは、わずか30年間だけ、この世に存在していた飛行機です。

1989年、私は夢のフライトを実現しました。AF002便でコンコルドに乗り、NYからParisまで飛んだのです。コンコルドは音速の2倍、マッハ2という巡航速度で飛びます。通常の旅客機の2倍以上の速さで、戦闘機並みです。NYからParisまで、通常の旅客機なら8時間を要するところが、3時間半で到着します。

コンコルドはイギリスとフランスが費用を折半し、共同で開発しました。開発費は1兆円という膨大な金額がかかりましたが、作られたのは20機だけです。エールフランス (AF) と英国航空 (BA) だけが運航し、運賃はファーストクラスより2割高く設定されていました。ファーストクラス運賃は高額でしたが、AFが、ファーストクラスの乗客に、片道だけコンコルド搭乗を認めるキャンペーンを始めたため、奮発したのです。

搭乗口でコンコルドの雄姿をカメラに収めたかったのですが、ニューヨークでは窓のない搭乗口となり、叶いませんでした。機内に乗って見て驚いたことは、とにかく狭いことです。片側2列ずつエコノミークラス並みの狭い座席で、通路も、一人がやっと通れる幅の狭いものでした。窓が楕円ではなく円いことは知っていましたが、ひどく小さいものでした。通常の旅客機は1万メートル上空を飛びますが、コンコルドはその2倍、2万mの成層圏を飛ぶため、客室の与圧で機体が爆発しないよう、窓は最小限の大きさしかありません。

離陸すると、ぐんぐん速度を上げていきます。加速にともなうGは相当なものです。客室にマッハ計があり、音速の何倍の速さで飛んでいるのか、分かる仕組みになっています。音速を超える時に、何か衝撃を感じるかと思いましたが、何も起こりませんでした。音速を超えると、加速が鈍くなるような気がしました。音速を超えると、突然、空気抵抗が増す、いわゆる「音の壁」に阻まれることが原因です。

窓側の座席にアサインされたので、下界を見ると、上空2万mから雲が遙か下に見えます。宇宙空間とも呼べる成層圏を飛んでいるため、景色を楽しむといった感じではありません。食事サービスでは、通路が狭くてワゴンが使えず、CAはトレイを手を持って運んできます。出された食事も貧弱で、ファーストクラスの、一皿ずつサーブされる食事とは比較にならないものでした。Parisまでの飛行時間は3時間半と短く、サービスは一回限りです。免税品販売ありませんでしたが、荷物を積むスペースにも余裕はないと感じました。

あっという間に3時間が過ぎ、大西洋は広いと思っていましたが、もう着陸態勢に入ったという感覚でした。NYを午後1時に出て、ParisはNYより時計が6時間進んでいるので、午後10時半に着きます。ホテルに到着すればちょうど眠る時間となり、夜行便で大西洋を飛ぶのに比較すればずっと楽に感じます。

しかし、運賃が高く、その結果、乗客が少なくなり、運航コストが重くのしかかります。航空会社は、コンコルドを飛ばすたびに赤字になる計算です。地球環境にやさしくないという側面に加え、コンコルドは短命に終わる経済的な理由もあったのです。ちなみに、ロシアにもコンコルドを真似して作ったSSTがありましたが、こちらも退役しました。

どうしても超音速の飛行を体験したいという方は、現状では、超音速の戦闘機に乗っていただくか、ロケットによる宇宙旅行を待つしかありません。以前は、立川にある航空自衛隊の実験航空隊に申し込みれば、F-15戦闘機に乗れる方法がありましたが、体に大変な加速度がかかるので、訓練を受ける必要がありました。

音より速く飛ぶということは、大きなハードルがあるようです。

あと少しで夏季休業日です。受験生には申し訳ありませんが、可能な範囲で旅をして見聞を広げましょう。

成人としての自覚

校長 永浜 裕之

令和4年4月、成人年齢が20歳から18歳に引き下げられました。

世界では18歳成人が主流となっており、民法改正により日本も、明治期以来、約140年に渡って定着してきた成人年齢を変更しました。ただし、飲酒や喫煙、競馬などの公営ギャンブルは20歳未満の禁止が維持されています。国民年金加入義務や離婚時の養育費支払い義務、自動車の大型・中型免許取得も20歳からです。

大きな変化は、金融に関して18歳でできることが増えた点です。親の同意なしで証券口座を開設でき、株式や投資信託の売買も可能になりました。携帯電話の購入やローン契約、住宅の賃貸契約も、親の同意なしに可能です。

裁量が増えることは喜ばしいことですが、自由には責任も伴います。行為が及ぼす影響を的確に理解し、賢い消費者となる必要があります。未成年者が親の同意なしに行った契約は、以前は原則として取り消すことができましたが、4月1日からは18歳以上には適用されません。

ソニー生命が4月1日時点で18歳、19歳になる500人を対象に行った調査では、6割の人が「不安を感じる」と回答しています。その内容は、「クレジットカードでの高額な買い物」、「マルチ商法など、もうけ話に巻き込まれる」、「ローン契約での高額な買い物」など、金銭にかかわる心配の回答が目立ちます。

取り扱いが可能になるサービスが増えても、特に高額な契約を行う場合などは、保護者など、身近な人と相談することが欠かせないと考えます。

さて、選挙権年齢も18歳に引き下げられています。これは令和4年4月からではなく、平成27年、公職選挙法が改正された結果です。

選挙権年齢の引き下げは、昭和20（1945）年に、25歳以上の男子に限られていた選挙権が、20歳以上の男女に改正されて以来、70年ぶりのことでした。

生徒の皆さんの中には、7月10日（日）に行われる参議院議員選挙で投票する権利を持つ人もいるでしょう。

現在、我が国は、コロナ禍はもとより、ウクライナ紛争や円安による物価高騰、グローバル化や少子高齢化、地球環境の温暖化など、多くの課題に直面しています。皆さんは、これらの課題に対して今後長い間、向き合っていくことになります。

したがって、今、国や社会で起きている問題を自分の問題として捉えることや、政治の在り方や社会の在り方について、関心をもって勉強し、社会参画することが大切になります。

我が国の憲法は、国民主権をうたっています。国民主権とは、一国の政治の在り方を最終的に決定するのは国民であるということです。主権者である国民として民主政治を維持するためには、皆さんの政治参加が必要となります。

自ら考え、自ら判断し、自ら行動すること。特に選挙においては、情報を集め、よく考え、投票先を決め、投票に行くことは政治参加の一つです。

大切なことは、多くの課題に直面している我が国において、皆さんが国や社会の課題について、当事者としての意識をもち、参加、協働、支え合いなどによって、活気のある社会を形成していくことだと思います。

18歳への選挙権年齢引下げのもつ意味を理解し、皆さんが社会参画、とくに選挙時においては、投票という政治参加によって、よりよい社会を築いていく担い手の一人になることを願っています。

定時制課程 学校行事予定

7月13日（水）卒業生を囲む会
14日（木）保護者会
15日（金）個別面談
18日（月）海の日
19日（火）個別面談
20日（水）全校集会、球技大会
21日（木）夏季休業日（始）
30日（土）AM停電
8月8日（月）～12日（金） 閉庁日
19日（金）定・転学・編入学入学者選抜（登校禁止）
30日（火）通・転学・編入学入学者選抜（登校禁止）

通信制課程 学校行事予定

7月9日（土）スクーリング1-10
16日（土）スクーリング1-11
18日（月）海の日
21日（木）Web学習コース 夏季集中スクーリング
22日（金）Web学習コース 夏季集中スクーリング
25日（月）Web学習コース 夏季集中スクーリング
26日（火）Web学習コース 夏季集中スクーリング
27日（水）Web学習コース 夏季集中スクーリング
28日（木）Web学習コース 夏季集中スクーリング
29日（金）Web学習コース 夏季集中スクーリング